



Dock Guide

AKO Central Hospital
人間ドック総合ガイド

With the Human



医療法人 伯鳳会
赤穂中央病院

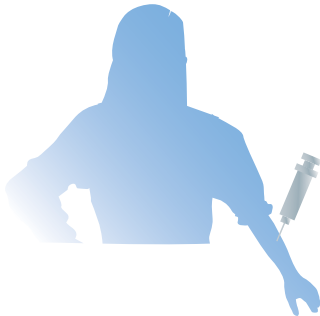
がんドック がんドックとは？

あれこれ心配するより、いちど調べてみてはいかがでしょうか？

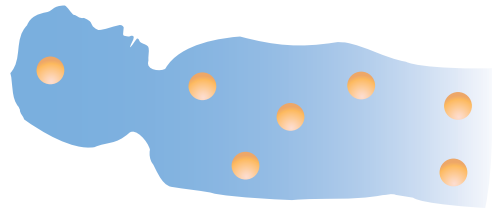
がんの治癒の為には、早期発見・早期診断・早期治療が重要であることは広く知られています。当院では最新鋭の画像診断装置（PET/CT）を用いて全身（頭頂部～鼠径部まで）を走査、更に胸腹部領域にはCT検査、下腹部領域にはMRI検査を組み合わせることにより、全身のがんを調べます。

? PET/CT検査とは

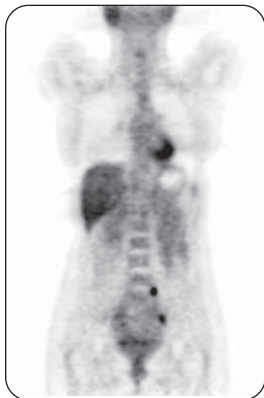
1 検査用のくすりを注射します。



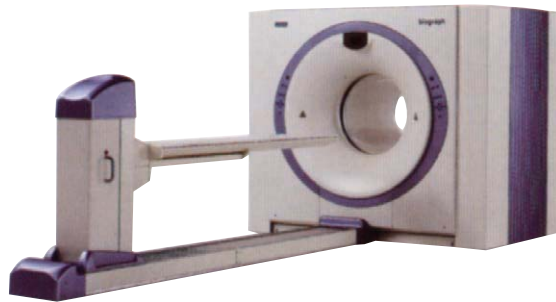
2 くすりが全身にまわるまで約50分間安静にさせていただきます。



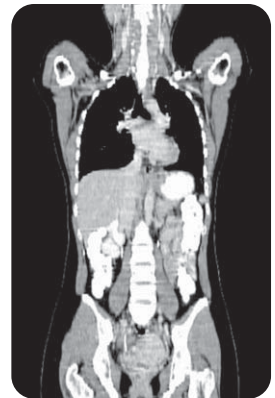
3 PET/CT検査を開始します。PET/CTとはCT装置とPET装置を一体化したもので、2つの検査を同時に行うことができます。また各々の画像を合成することにより、より診断価値の高い画像を得ることが可能です。



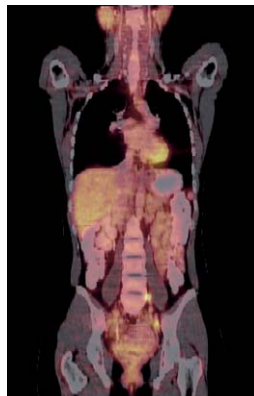
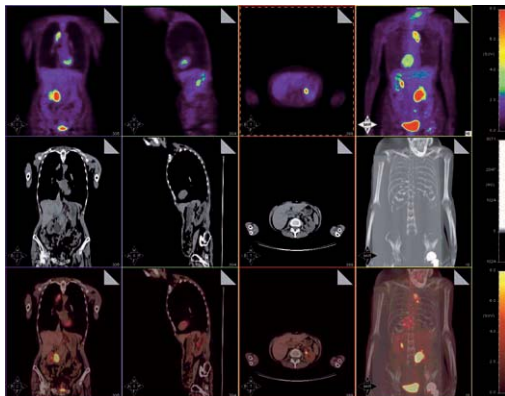
集積したくすりから放出される信号をPET/CTで収集、PET画像を作成します。



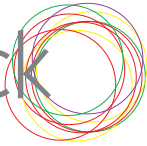
PET/CT装置



PET/CTでCT撮影も行います。



CT画像とPET画像を合成してPET/CT画像を作成し、各々の画像を読影して診断を行います。



がんドック検査の流れ

がんドックは右記のような流れで行います。
PET検査はがんの早期発見に有用ですが、
全てのがんに対して役立つわけではありません。
当院では、出来るだけ多くのがんに対して
高精度な診断を行う為に、PET/CT検査に
加えて骨盤部領域に対して
MRI検査も実施いたします。

PETの有用な疾患

- 甲状腺癌
- 肺癌
- 食道癌
- 膵臓癌
- 大腸癌

- 乳癌
- 子宮・卵巣癌
- 悪性リンパ腫
- 骨腫瘍
- 悪性黒色種など

PETの不得手な疾患

- 胃癌
- 肝臓癌
- 腎臓癌
- 膀胱癌
- 前立腺癌

Cancer dock

脳ドック

脳ドックとは？

脳・脳血管性疾患が発症した場合、たとえ死に至らなくとも麻痺や言語障害などの後遺症をきたす可能性があります。当院では、これらの疾患の予防・早期発見のために脳ドックを行っており、その内容は以下のようになっています。

頭部MRI検査・頭部MRA検査

MRIは「核磁気共鳴画像検査」といいます。

MRIでは、CTでは捉えられない変化の描出が可能で、無症候性脳梗塞などの診断に有用です。

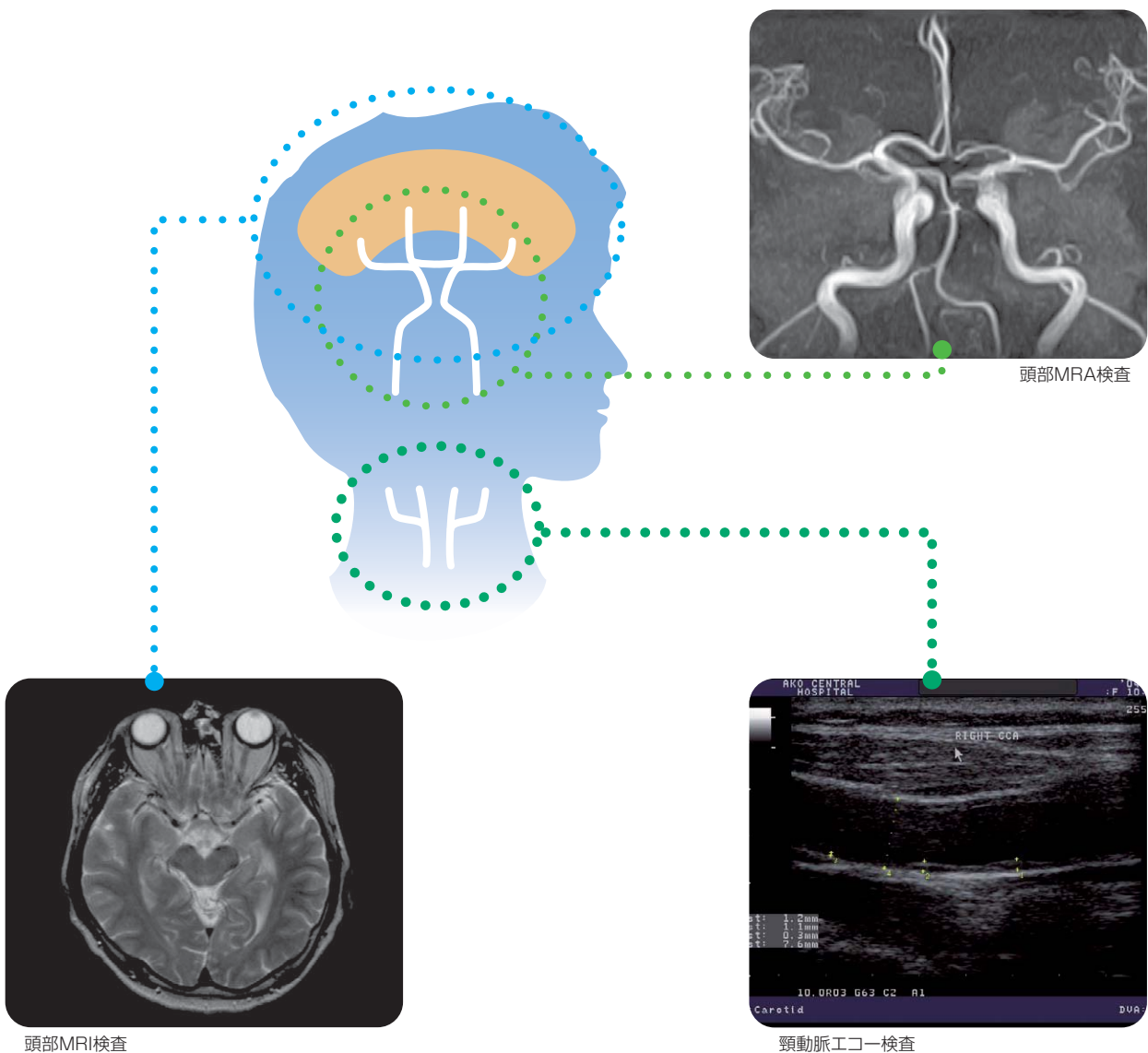
またMRAとはMRI検査の一種です。この検査は血管の描出を目的とした検査法で、

未破裂動脈瘤などの診断に有用です。

頸動脈エコー検査

この検査は、頭部に流れ込む内頸動脈起始部や椎骨動脈の狭窄・閉塞診断に有用な検査です。

頸部を超音波で観察することにより、血管壁の状態（動脈硬化など）調べることが出来ます。



予 約

受診日を調整させていただきます。

受 付

中央病院3階検診センターにお越しください。
問診票記入・提出、会計をさせていただきます。

身体
血圧測定
採血

検診センターにて各種測定および採血を
させていただきます。

頭部MRI
頭部MRA
検 査

中央病院1階CT/MRI室にて、
頭部MRI・頭部MRA検査を行います。

頸動脈エコー
検 査

はくほう会病院2階生理検査
室にて、頸動脈エコー検査を
行います。

結果説明

はくほう会病院2F脳神経外科医師により
結果の説明を行います。

脳ドック検査の流れ

当院脳ドックは右記のような流れで行います。



MRI装置

Brain dock

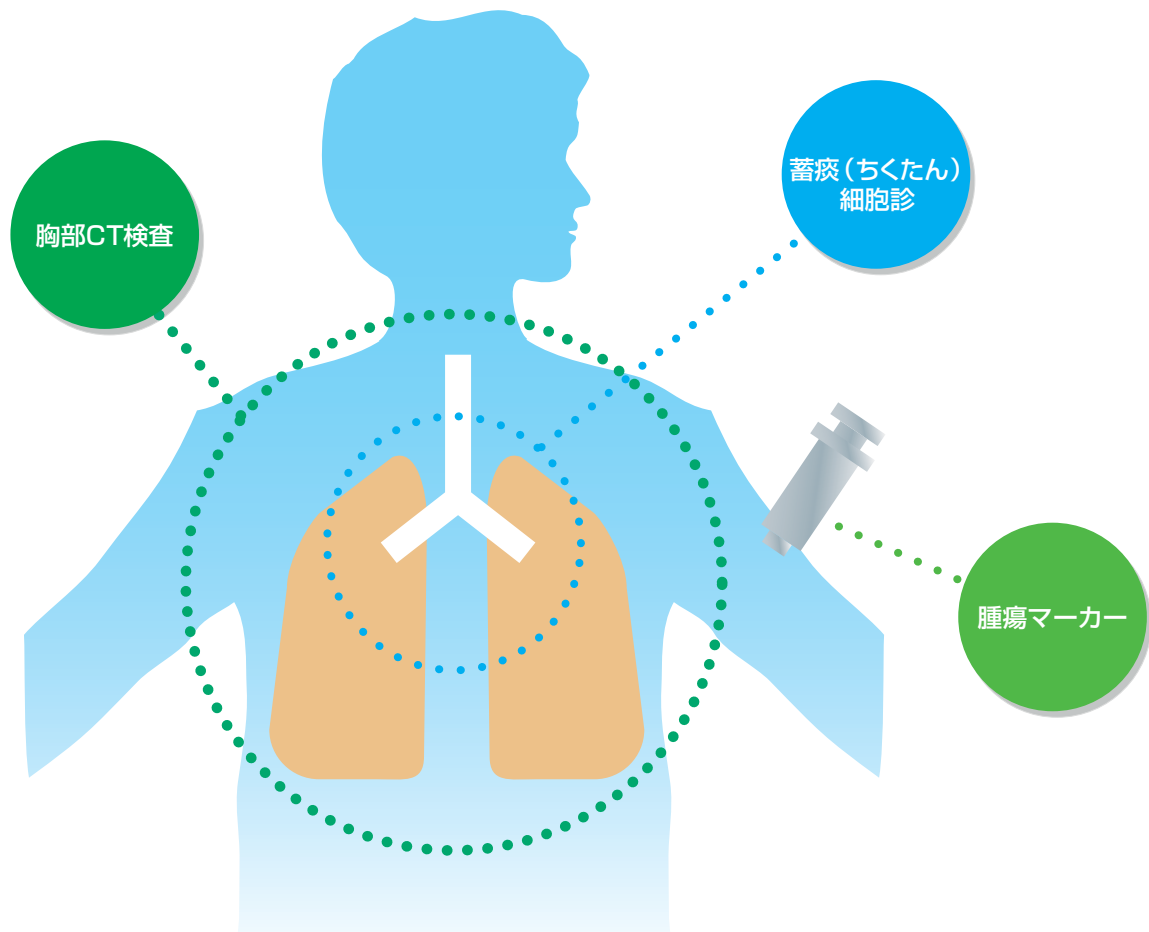
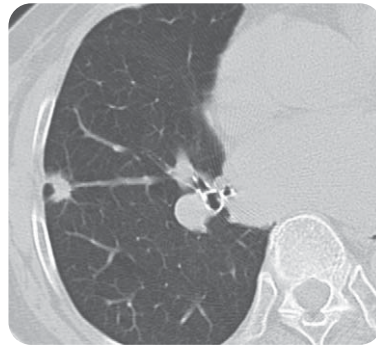
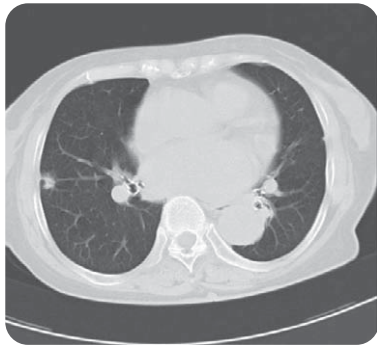
肺ドック

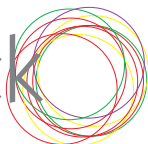
肺ドックとは?

従来の検診等で用いられてきた、胸部レントゲン検査では微小な病変の検出には限界があり、発見された段階では既に進行がんの状態であった、というケースも多く見られました。当院では、この胸部レントゲン検査の代わりに胸部CT検査をドックメニューに組み込む事により、より早期な段階での病変を描出を可能といたしました。

胸部CT検査

当院では最新のマルチスライスCTが稼働しております。マルチスライスCTとは、通常1～2回の息止め（10秒程度）で肺全体を撮影し、従来の胸部レントゲン検査では捉えきれなかった微小陰影（5ミリ程度）の描出が可能です。





予 約

受診日を調整させていただきます。

受 付

中央病院 3 階検診センターにお越しください。
問診票記入・提出、会計をさせていただきます。

身長・体重
血圧測定

検診センターにて各種測定をさせていただきます。

肺ドック検査の流れ

当院肺ドックは右記のような流れで行います。

診 察

担当医師による問診・診察を行います。
検診内容（オプション検査等）についての
ご質問等ありましたら、担当医師に御相談ください。

採血検査

腫瘍マーカー検査（オプション）
をされる方は、
採血をさせていただきます。

胸部CT撮影

中央病院 1 階 CT/MR I 室にて、
胸部 CT 撮影を行います。

結果郵送

検査結果につきましては、後日郵送となります。
(通常 10 日程度の御時間をいただいております。)

オプション検査

以下の検査はオプションとなります。ご希望の方は、
診察時担当医にご相談ください。

①蓄痰(ちくたん)細胞診

痰の中のがん細胞の有無を調べます。

②腫瘍マーカー

血液中の腫瘍マーカーといわれる
物質を測定します。



Pulmonary dock

成人病・半日ドック・一泊二日ドック

現代病は、内部から生じる成人病=生活習慣病が主流です。

成人病は、「自分では健康だ」と思っているにもかかわらず進行していくものです。

自分のからだの状態を把握する為の定期的なチェックを行うことで、あなたの“健康”という財産を守ってください。

成人病・半日ドック・一泊二日ドック検査内容

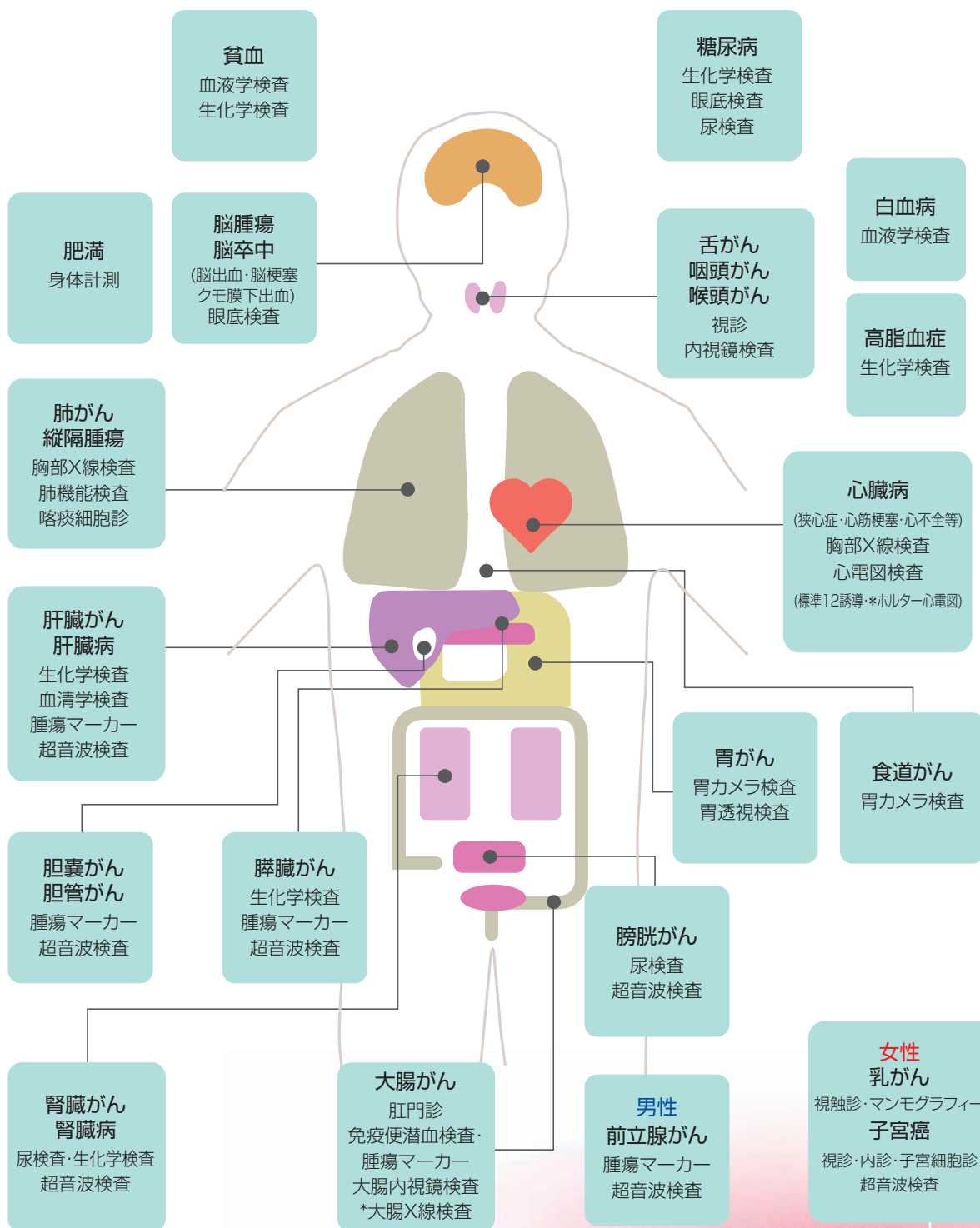
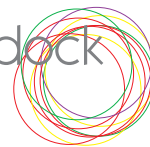
	成人病	半日ドック	一泊二日ドック
診察	○	○	○
身体計測・血圧・視力・聴力	○	○	○
眼底検査	—	○	○
腹囲検査	○	○	○
尿検査	○ ^{*1}	○ ^{*1}	○ ^{*2}
便潜血検査	○	○	○
胸部レントゲン検査	○(1方向)	○(2方向)	○(2方向)
胃透視検査	○	○	—
胃カメラ検査	—	—	○
腹部エコー検査	○	○	○
心電図検査	○	○	○
肺機能検査	—	○	○
血液検査	○ ^{*3}	○ ^{*3}	○ ^{*4}
生化学検査	○	○	○
血清検査	—	○ ^{*5}	○ ^{*6}
血糖検査	○ ^{*7}	○ ^{*8}	○ ^{*8}
喀痰細胞診検査	—	○	○
泌尿器科診察	—	○(55歳以上男性のみ)	○(55歳以上男性のみ)
PSA	—	○(50歳以上男性のみ)	○(50歳以上男性のみ)
乳がん検診	—	○(女性のみ別途) ^{*9}	
子宮がん検診	—	○(女性のみ別途) ^{*9}	
脳ドック	—	—	○
がんドック	(PET/CT 骨盤MRI)	—	○
		—	○

*1(比重、ウロビリノーゲン)、蛋白、糖、尿沈渣)、*2(*1+PH、潜血)、*3(末梢血一般)、*4(*3+血液像、赤血球沈降速度、血液型)

*5(CRP、RA、HBs抗原、HCV抗体、TPHA、RPR、AFP)、*6(CRP、RA、HBs抗原、HCV抗体、TPHA、RPR、ASO、CEA)

*7(GLU)、*8(*7+HbA1c)、*9別途料金になります

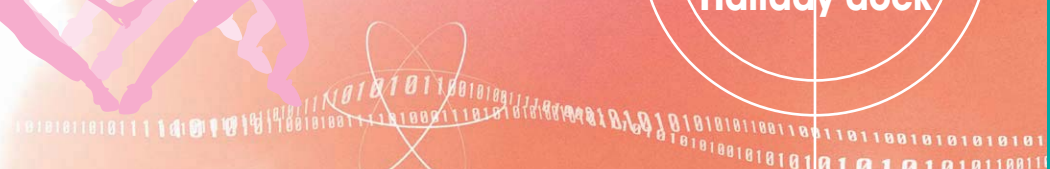
Adult diseases dock One night two-day dock Halfday dock



成人病・半日病・二日下ッダ



Adult diseases dock
One night two-day dock
Halfday dock



一般健診・その他

当院では以下のような健診も行っています。お気軽にお問い合わせください。

	一般健診 40歳未満(35歳を除く)	一般健診 (35歳及び40歳以上)	雇入れ(採用時)健診	海外派遣労働者健診
診察	○	○	○	○
身体計測	○	○	○	○
血圧測定	○	○	○	○
視力	○(含:色覚あり)	○(含:色覚あり)	○(含:色覚あり)	○
聴力 *1	○(省略可)	○	○	○
眼科検査	—	—	—	—
尿検査 *2	○	○	○	○
胸部レントゲン検査	○	○	○	○
心電図検査	—	○	○	○
血液検査 *3	—	○	○	○
生化学検査 *5	—	○	○	○
血糖検査 *6	—	○	○	○
備考				医師が必要と判断した場合



	じん肺健診	電離放射線健診
診察	○	○
身体計測	—	—
血圧測定	—	—
視力	—	—
聴力 *1	—	—
眼科検査	—	水晶体混濁
尿検査 *2	—	—
胸部レントゲン検査	○(高圧)	—
心電図検査	—	—
血液検査 *3	—	○*4
生化学検査 *5	—	—
血糖検査 *6	—	—
備考	じん肺結果表・問診票有り	専用結果表有り

(オプション検査)

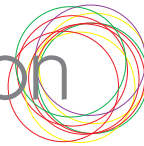
- 胃透視検査
- 腹部エコー検査
- 血中尿酸量検査
- B型肝炎ウイルス抗体検査
- 血液型検査(派遣前に限る)
- 糞便塗沫検査(帰国時に限る)

赤穂中央病院

Netwo

専門病院など

*1聴力検査(1000Hz4000Hz)、*2尿検査(蛋白・糖)、*3血液検査(赤血球数、血色素量(ヘモグロビン/Hb))、*4(*3+ヘマトクリット(Ht)、白血球百分率(血液像))、*5生化学検査(GOT、GPT、γ-GDP、TG(中性脂肪/トリグリセライド)、T-CHO(総コレステロール)、HDL-CHO)、*6血糖検査(GLU)



がんドックQ&A

- Q1 時間はどのくらいかかりますか? ▶ A がんドック全体で、半日を予定しています。PET/CT検査では、くすりを注射して安静時間が50分間必要ですが、撮影時間は20分程度です。
- Q2 全身のがんが全てわかるのですか? ▶ A 全てのがんが「必ずわかる」というわけではありません。しかし従来の検査と比較すると、極めて高い精度で発見することが可能です。
- Q3 がんをどれくらい早期発見できますか? ▶ A PET検査では1cm程度からの発見が可能です。5mmのがんを発見した報告もあります。
- Q4 良性か悪性かの診断はできますか? ▶ A 悪性のモノほどくすりの取り込みが高いといわれている為、この量によって判断することが出来ます。しかし、全てのがんがこれにあてはまる訳ではありません。
- Q5 検査前の注意事項は? ▶ A PET検査前の食事は絶食していただきます。水や糖分を含まないお茶などは飲んで頂いても構いません。また、くすりを注射してから50分間は安静にさせていただきます。筋肉を動かすと、その筋肉にくすりが集まってしまい、診断の妨げとなります。
- Q6 検査に苦痛が伴いますか? ▶ A 採血検査やくすりを注射する時だけです。PET/CT検査・MRI検査の時は、横になって安静にさせていただきます。
- Q7 PET検査にはどのようなくすりをつかうのですか? ▶ A PET検査にはポジトロンを放出するくすりを使用します。ポジトロンとは「陽電子」のことで、これを放出する元素は「ポジトロン核種」といい、放射性同位元素の仲間です。全身PET検査では ^{18}F -FDGというくすりを用います。
- Q8 PET検査による被ばく線量はどのくらいですか? ▶ A PET検査による被ばくは、約2.2mSvです。これは人が普通に生活をしていて、自然界から受ける年間の平均被曝線量の2.4mSvとほぼ同じ線量です。ちなみに胃透視検査でうける被曝線量は約4mSvです。これらの被曝線量では、急性の放射線障害が起こることはありません。また将来の発がんの可能性もほとんどありません。
- Q9 がんドックに保険はつかえるでしょうか? ▶ A がんドックは保険適用にはなりません。またPET検査は、特定の疾患で一定要件を満たす場合にのみ保険適応となります。
- Q10 もしがんがあったときは? ▶ A 当院は様々な医療機関との連携を行っています。もしがんが発見された場合には、当院での治療も可能ですし、他の医療機関への紹介も責任を持ってさせていただきます。

大学病院など

General
medical
examination

赤穂中央病院



所在地 〒678-0241 赤穂市惣門町52-6
TEL 0791 (45) 1111 (代表)

診療案内 平日 午前9:00～午後12:30
午後3:00～午後 6:00
土曜日 午前9:00～午後 1:00

外来受診フリーダイヤル

0120-891-700

- ・ 午後の診療時間は各科により異なります。ご注意ください。
- ・ 診療時間・曜日は変更となる場合があります。
- ・ 詳しくは待合室に掲示いたしますのでご覧下さい。
- ・ 不明な点は何なりと職員にお尋ね下さい。